

## 令和6年度 事業報告

### 1 期末総括

令和6年の日本経済は、一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、3月にマイナス金利を終了、日経平均株価は史上最高値を更新、公示地価上昇率や春闘賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録するなど、幅広い分野でインフレ経済への回帰が見られました。しかし実体は供給側の原材料費や光熱費、人件費などの生産コストの上昇による物価上昇であり、コストプッシュ型インフレ＝「悪いインフレ」と云われ、企業の利益は上がりず、労働者の実質賃金は3年連続で減少するなど、好景気感はないという状況にありました。さらに年が明けて米国指導者の交代により経済・安全保障環境の不確実性や激変リスクが加わり、先行き経済の不透明感が支配的になりました。

このような社会経済情勢のなか、当センターでは適正価格の維持とコスト縮減の両面から供給と調達の業務を中心に改善や見直しを地道に積上げるとともに、渉外営業活動を強化し顧客との意思疎通やニーズ把握に注力しました。また、追加オプション検査の導入・提案、新規顧客へのアプローチなどにも注力し、事業量・事業収入の安定確保とともに時代の変化や社会の変化に即応できる組織風土の醸成に努めました。合わせて、信頼に足る健診機関として健康診断精度管理および個人情報保護マネジメントシステムの更新認定を取得しました。また、職員的能力、資質向上のため教育訓練や研修の実施など人材育成に取り組み、組織基盤の強化に努めました。

経営成績では、経常収益4億7,389万2,585円（前年比3,847万4,478円増）、経常費用4億3,264万3,816円（前年比273万1,327円減）、経常増減額4,124万8,769円（前年比4,120万5,805円増）となり、ここから法人税等1,330万8,819円を除いた一般正味財産増減額は2,793万9,950円（前年比2,796万7,986円増）の黒字決算となりました。そして令和6年度期首残高4億6,807万8,467円にこの黒字額を加え、令和6年度正味財産期末残高は4億9,601万8,417円となりました。

## 2 収益事業の取り組み

### ① 健康診断事業

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
	件数	件数		
(1)一般健診	19,374	19,653	▲ 279	98.6
雇用健康診断	932	941	▲ 9	99.0
定期健康診断	12,462	12,683	▲ 221	98.3
特定業務従事者健康診断	1,730	1,688	42	102.5
海外派遣健康診断	12	6	6	200.0
給食従事者便検査	360	377	▲ 17	95.5
ストレスチェック	3,724	3,817	▲ 93	97.6
特定保健指導	154	141	13	109.2
(2)特殊健診	5,584	5,419	165	103.0
じん肺健康診断	910	766	144	118.8
有機溶剤健康診断	1,891	1,971	▲ 80	95.9
鉛健康診断	98	104	▲ 6	94.2
特定化学物質健康診断	1,867	1,840	27	101.5
電離放射線健康診断	658	616	42	106.8
その他特殊健康診断	160	122	38	131.1
(3)その他労働衛生健診(胸部X線以外)	6,972	6,516	456	107.0
単項目オプション検査	6,972	6,516	456	107.0
(4)生活習慣病健診	13,715	13,338	377	102.8
生活習慣病健診(協会けんぽ)	7,582	7,100	482	106.8
生活習慣病健診(協会けんぽ以外)	6,133	6,238	▲ 105	98.3
(5)住民健診	331	259	72	127.8
住民健診(じん肺)	19	27	▲ 8	70.4
住民健診(じん肺以外)	312	232	80	134.5
(6)学校健診	31,408	33,851	▲ 2,443	92.8
学校健診(私学)	10,804	11,322	▲ 518	95.4
学校健診(公立)	20,604	22,529	▲ 1,925	91.5
(7)産業医補助	6	6	0	100.0
産業医補助	6	6	0	100.0
(8)二次健康診断	275	372	▲ 97	73.9
二次健康診断	275	372	▲ 97	73.9
合計	77,665	79,414	▲ 1,749	97.8

### ② 作業環境測定事業

項目	令和6年度	令和5年度	増減数	増減率(%)
	件数	件数		
(1)粉じん測定	254	254	0	100.0
(2)有機溶剤測定	227	239	▲ 12	95.0
(3)特定化学物質測定	85	72	13	118.1
(4)騒音測定	46	42	4	109.5
(5)その他測定、分析	406	210	196	193.3
遊離計算分析(外注)	366	176	190	208.0
スポット測定	34	27	7	125.9
フィットテスト	6	7	▲ 1	85.7
合計	1,018	817	201	124.6

### 3 法人運営の取り組み

- (1)監事会（5月10日：令和5年度事業報告・決算の監査）
- (2)正副理事長会（5月22日：通常理事会への提案議案等の確認）
- (3)理事会（5月22日：令和5年度事業報告・決算の決議、役員改選選任案、正副理事長の選任決議）
- (4)定時社員総会（5月22日：令和5年度事業報告・決算の承認、役員選任案の決議）
- (5)正副理事長会（3月24日：通常理事会への提案議案等の確認）
- (6)理事会（3月24日：令和7年度事業計画・予算案、資産管理運用規程案、資産運用計画案の決議）

### 4 経営管理の取り組み

- (1)経営会議（月例）の開催
  - ・月次収支管理、月次健診事業実績の確認・検証 など
- (2)事務改善に向けた所内各種会議等（随時）の取り組み
  - ・幹部会議、係長会議、個人情報委員会、施設委員会、デジタル委員会、社内ネットワーク HP 委員会、健康経営優良法人マーク取得委員会
- (3)人材育成・スキルアップの取り組み
  - ・職場研修12月（接遇マナー研修、ハラスメント研修）
  - ・外部研修（労務・経理の研修、保健師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・作業環境測定士の専門職研修）
- (4)業務執行体制強化の取り組み
  - ・健診精度管理事業認定の更新取得（胸部X線検査、臨床検査、労働衛生検査）
  - ・作業環境測定総合精度管理事業認定の更新取得
  - ・プライバシーマークに係る個人情報保護マネジメントシステムの更新取得
  - ・医療安全管理指針の策定検討
  - ・オプション検査の追加
    - ①軽度認知障害検査（MCIスクリーニング）
    - ②健康年齢チェック検査
    - ③がんリスク検査（マイシグナル）
  - ・普通救命講習（12月）、消防訓練（12月）
- (5)設備投資の取り組み
  - ・聴力検査専用ブースの設置（8月）

- ・高速インクジェットプリンターの更新（11月）
- ・所内 X線撮影装置の更新およびデジタル画像サーバーの導入（3月）
- ・会館防犯カメラの設置（3月）
- ・会館北通用口を顔認証ドアに改修（3月）

(6)事業運営に関する関係機関・団体等との連携協力の取り組み

- ・全国労働衛生団体連合会、日本作業環境測定協会、日本労働衛生工学会 など
- ・愛知県健康管理機関協議会、全衛連中部地方協議会 など
- ・愛知医科大学病院、旭ろうさい病院、公立陶生病院、愛知県立大学、瀬戸旭医師会 など
- ・瀬戸市、瀬戸市じん肺予防会議、瀬戸労働基準協会 など